

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 2020年1月14日

【四半期会計期間】 第38期第2四半期(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

【会社名】 株式会社コスモス薬品

【英訳名】 COSMOS Pharmaceutical Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 横山 英昭

【本店の所在の場所】 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号
第一福岡ビルS館4階

【電話番号】 092 - 433 - 0660 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 柴田 太

【最寄りの連絡場所】 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号
第一福岡ビルS館4階

【電話番号】 092 - 433 - 0660 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 柴田 太

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期 連結累計期間	第38期 第2四半期 連結累計期間	第37期
会計期間	自 2018年6月1日 至 2018年11月30日	自 2019年6月1日 至 2019年11月30日	自 2018年6月1日 至 2019年5月31日
売上高 (百万円)	298,372	325,269	611,137
経常利益 (百万円)	13,498	13,110	27,292
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	9,005	8,771	19,185
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	9,016	8,783	19,182
純資産 (百万円)	117,014	133,983	126,289
総資産 (百万円)	255,035	278,727	273,561
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	454.83	443.00	968.97
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	45.9	48.1	46.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	10,044	13,874	34,379
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	14,501	12,936	30,042
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,841	2,777	6,982
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	13,369	17,182	19,022

回次	第37期 第2四半期 連結会計期間	第38期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年9月1日 至 2018年11月30日	自 2019年9月1日 至 2019年11月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	208.10	187.95

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（2019年6月1日～11月30日）におけるわが国の経済は、不安定な国際情勢など先行きが不透明な状況が続きました。また、国内の雇用環境は人手不足により賃金単価が上昇しているにも関わらず、個人消費は力強さを欠き、消費者の低価格志向はますます強くなっております。特に、10月の消費税増税によって消費者が価格に敏感になったことで、9月には想定外の駆け込み需要が発生し、10月は反動減が発生いたしました。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。加えて、「毎日安い（エブリデイ・ロー・プライス）」政策を忠実に実行することで物流や店舗作業の平準化を行い、ローコストオペレーションの更なる推進を図りました。これにより価格競争力を高め、ご来店いただくお客様に「高品質な商品をより安く」販売できるように努めてまいりました。また、増税時に税込価格を据え置いたことで、棚卸在庫の評価減が生じております。しかしながら、11月には既存店売上高前年比が3.2%増となるなど、売上高は堅調に推移いたしました。

出店戦略につきましては、自社競合による一時的な収益性の低下も厭わず、当社創業の地である九州地区にも出店を継続しております。同時に、新商勢圏への店舗網拡大も図ってまいりました。これにより、新規出店につきましては、関東地区に1店舗、中部地区に6店舗、関西地区に18店舗、中国地区に2店舗、四国地区に2店舗、九州地区に12店舗の合計41店舗となりました。また、スクラップ&ビルドにより2店舗を閉鎖し、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は1,032店舗となりました。

なお、当社グループは事業区分が単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,252億69百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は119億65百万円（同2.9%減）、経常利益は131億10百万円（同2.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は87億71百万円（同2.6%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,787億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて51億66百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が18億40百万円、商品が3億10百万円減少し、有形固定資産が56億1百万円、未収入金等その他の流動資産が16億34百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は1,447億43百万円となり、前連結会計年度末に比べて25億28百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金が14億40百万円、未払法人税等が2億35百万円、長期借入金が7億43百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は1,339億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて76億94百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(出店、閉店の状況)

(単位：店舗)

地区	2019年5月期末 店舗数	出店数	閉店数	純増数	2020年5月期 第2四半期末店舗数
関東地区	3	1	-	1	4
中部地区	34	6	-	6	40
関西地区	133	18	-	18	151
中国地区	167	2	-	2	169
四国地区	111	2	-	2	113
九州地区	545	12	2	10	555
合計	993	41	2	39	1,032

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて18億40百万円減少し、171億82百万円(前年同四半期比28.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は138億74百万円(前年同四半期比38.1%増)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益129億45百万円、減価償却費66億2百万円等の増加要因、仕入債務の減少14億40百万円、法人税等の支払額43億59百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は129億36百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出125億16百万円、敷金及び保証金の差入による支出4億3百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は27億77百万円(前年同四半期比27.7%減)となりました。

これは、長期借入金の返済による支出7億43百万円、配当金の支払額10億89百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出9億44百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	59,600,000
計	59,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,000,400	20,000,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	20,000,400	20,000,400		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年9月1日～ 2019年11月30日		20,000,400		4,178		4,610

(5) 【大株主の状況】

2019年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社萬緑	福岡市博多区博多駅東2丁目8-35-204	7,659	38.68
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	949	4.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	887	4.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	793	4.01
公益財団法人余慶会	福岡市博多区博多駅東2丁目10-1 福岡ビルS館4階	750	3.79
宇野 之崇	福岡市早良区	600	3.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	東京都中央区晴海1丁目8-11	587	2.97
宇野 愼里子	福岡市博多区	512	2.59
宇野 史泰	福岡市博多区	512	2.59
ORBIS SICAV (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ 東京支店)	31, Z.A. BOURMICH, L-8070 BERTRANGE, LUXEMBOURG (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	327	1.65
計		13,579	68.58

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 642千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 644千株

2. 2019年4月22日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー及びその共同保有者であるキャピタル・インターナショナル・リミテッド、キャピタル・インターナショナル・インク、キャピタル・インターナショナル・エス・エイ・アール・エル、キャピタル・インターナショナル株式会社が2019年4月15日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
キャピタル・リサーチ・アンド・マネージ メント・カンパニー	333 South Hope Street, Los Angeles, CA 90071, U.S.A.	222	1.11
キャピタル・インターナショナル・リミ テッド	40 Grosvenor Place, London SW1X 7GG, England	57	0.29
キャピタル・インターナショナル・インク	11100 Santa Monica Boulevard, 15th F1., Los Angeles, CA 90025, U.S.A.	76	0.38
キャピタル・インターナショナル・エス・ エイ・アール・エル	3 Place des Bergues, 1201 Geneva, Switzerland	102	0.51
キャピタル・インターナショナル株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号 明治安田生命ビル14階	849	4.25
計		1,307	6.54

3. 2018年4月20日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、エフエムアールエルエルシー(FMR LLC)が2018年4月13日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
エフエムアール エルエルシー(FMR LLC)	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	1,294	6.47

4. 上記のほか、当社所有の自己株式200千株があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,791,800	197,918	
単元未満株式	普通株式 7,800		1単元(100株)未満株式
発行済株式総数	20,000,400		
総株主の議決権		197,918	

(注) 単元未満株式欄の普通株式には、自己株式34株が含まれております。

【自己株式等】

2019年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社コスモス薬品	福岡市博多区博多駅東二 丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階	200,800	-	200,800	1.00
計		200,800	-	200,800	1.00

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年9月1日から2019年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年6月1日から2019年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,022	17,182
売掛金	398	405
商品	53,090	52,780
貯蔵品	199	207
その他	7,674	9,309
流動資産合計	80,385	79,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	133,181	138,289
土地	21,964	23,947
その他(純額)	17,670	16,181
有形固定資産合計	172,816	178,418
無形固定資産	287	258
投資その他の資産		
敷金及び保証金	13,106	13,219
建設協力金	3,803	3,725
その他	3,162	3,220
投資その他の資産合計	20,071	20,166
固定資産合計	193,176	198,843
資産合計	273,561	278,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,796	109,355
1年内返済予定の長期借入金	1,486	1,486
未払法人税等	5,001	4,765
店舗閉鎖損失引当金	104	84
その他	15,781	15,607
流動負債合計	133,170	131,300
固定負債		
長期借入金	7,061	6,318
退職給付に係る負債	1,005	1,086
資産除去債務	1,642	1,690
その他	4,392	4,348
固定負債合計	14,101	13,443
負債合計	147,272	144,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	117,829	125,511
自己株式	238	238
株主資本合計	126,380	134,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
退職給付に係る調整累計額	92	80
その他の包括利益累計額合計	91	78
純資産合計	126,289	133,983
負債純資産合計	273,561	278,727

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
売上高	298,372	325,269
売上原価	238,395	260,684
売上総利益	59,976	64,584
販売費及び一般管理費	1 47,649	1 52,619
営業利益	12,327	11,965
営業外収益		
受取利息	36	32
受取手数料	349	363
不動産賃貸料	614	624
固定資産受贈益	158	187
その他	342	344
営業外収益合計	1,501	1,552
営業外費用		
支払利息	39	35
不動産賃貸原価	229	226
その他	61	146
営業外費用合計	329	408
経常利益	13,498	13,110
特別利益		
受取保険金	2 80	2 2
特別利益合計	80	2
特別損失		
固定資産除却損	55	34
災害による損失	3 189	3 17
店舗閉鎖損失	26	31
店舗閉鎖損失引当金繰入額	35	84
特別損失合計	307	167
税金等調整前四半期純利益	13,271	12,945
法人税等	4,266	4,174
四半期純利益	9,005	8,771
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,005	8,771

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	9,005	8,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	11	11
その他の包括利益合計	10	12
四半期包括利益	9,016	8,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,016	8,783

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,271	12,945
減価償却費	6,242	6,602
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	83	98
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	35	84
受取利息及び受取配当金	36	32
支払利息	39	35
災害による損失	189	17
受取保険金	80	2
固定資産除却損	55	34
店舗閉鎖損失	26	31
売上債権の増減額(は増加)	74	6
たな卸資産の増減額(は増加)	3,248	277
仕入債務の増減額(は減少)	2,755	1,440
その他	212	388
小計	13,961	18,255
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	39	35
法人税等の支払額	3,750	4,359
災害による損失の支払額	126	14
保険金の受取額	-	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,044	13,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	14,000	12,516
有形固定資産の売却による収入	297	-
建設協力金の支払による支出	282	102
建設協力金の回収による収入	206	186
敷金及び保証金の差入による支出	852	403
敷金及び保証金の回収による収入	310	213
その他	180	314
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,501	12,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	1,930	743
ファイナンス・リース債務の返済による支出	1,020	944
配当金の支払額	890	1,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,841	2,777
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	8,298	1,840
現金及び現金同等物の期首残高	21,668	19,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,369	17,182

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
給料及び賞与	20,447百万円	22,601百万円
退職給付費用	99百万円	114百万円
地代家賃	7,389百万円	8,156百万円

- 2 受取保険金

前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

受取保険金は、2018年7月に発生した「平成30年7月豪雨」に伴う商品被害等に係るものであります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

受取保険金は、2019年8月に発生した長崎県・佐賀県・福岡県の大雨に伴う商品被害等に係るものであります。

- 3 災害による損失

前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

災害による損失は、「平成30年7月豪雨」、「大阪北部地震」等による損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

災害による損失は、2019年8月に発生した長崎県・佐賀県・福岡県の大雨に伴う損失を計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
現金及び預金勘定	13,369百万円	17,182百万円
預入期間が3か月を超える預金等	- 百万円	- 百万円
現金及び現金同等物	13,369百万円	17,182百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年8月24日 定時株主総会	普通株式	890	45.00	2018年5月31日	2018年8月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年1月11日 取締役会	普通株式	890	45.00	2018年11月30日	2019年2月13日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月23日 定時株主総会	普通株式	1,088	55.00	2019年5月31日	2019年8月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年1月10日 取締役会	普通株式	989	50.00	2019年11月30日	2020年2月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

当社グループは医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

当社グループは医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
1株当たり四半期純利益	454円83銭	443円00銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	9,005	8,771
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	9,005	8,771
普通株式の期中平均株式数(株)	19,799,567	19,799,566

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

2020年1月10日開催の取締役会において、第38期(2019年6月1日から2020年5月31日まで)中間配当について、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額	989百万円
1株当たりの金額	50円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年2月13日

(注) 2019年11月30日現在の株主名簿に記録された株主に対し、支払を行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年1月10日

株式会社コスモス薬品
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 濱 村 正 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コスモス薬品の2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年9月1日から2019年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年6月1日から2019年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コスモス薬品及び連結子会社の2019年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。